

専攻科建築科（夜間制）

■専攻科建築科とは

建築は衣食住という人間生活の基盤となる「住」に関わるとともに、まちなみや風景を構成する基本的な要素です。したがって、建築技術者は、人間生活の安全性と快適性を追求するとともに、自然や風土に調和した豊かで美しい生活空間の創造に取り組んでいくことが求められます。本学のカリキュラムは、建築に関わる基礎知識を体系的に学ぶための講義と、専門知識を総合して体得するため実習・製図科目をバランスよく組み込んだ内容となっています。このような教育を通じて、工学的技術や建築文化について理解を深め、地域社会で活躍できる人材の養成を目指しています。

■アドミッションポリシー（求める学生像）

本学の修学を目指す学生には、高等学校における知識・技能を前提として、特に以下の素養・資質を備えていることが期待されます。

- ①人々の生活環境と地域社会の発展向上のために、建築技術者として専門的立場から貢献をしたい
- ②デザイン力を磨き、コミュニケーション力を深めて、建築分野に対し積極的に関与したい
- ③建築分野を広く、深く学ぶことを通じて、自己研鑽に努めたい

■学びのポイント

1. 働きながら建築が学べる

山梨県では本学が唯一、夜間部（授業時間 18:05～21:20）で建築を学ぶことができる教育機関です。2年間で40単位の専門科目を履修・習得しながら、建築における基本的な考え方を理解していきます。最終年次には全員が住宅設計に取り組み、デザインスキルの向上を図ります。



2. 二級建築士受験資格を得られる

建築士試験の指定科目である主要4科目（計画・法規・構造・施工）を中心とする講義及び実習を行います。本校の修了と同時に二級建築士の受験資格が取得でき、試験合格直後から建築士の免許登録が可能です。また、二級建築施工管理技術者試験（学科）やCAD検定等に対応した学習指導も行っています。

3. 高い志をもった仲間と出会える

初学者から現場で働く実務者まで、多様な背景やキャリアを持った方々が学んでいます。社会人の出身大学・学科も多岐にわたっており、幅広い視点から建築を捉える機会に恵まれた環境です。令和2年度には創立50周年を迎え、これまでに、地域の建築技術・文化を支える多くの人材を輩出してきました。

出身学校：山梨大学・山梨県立大学・新潟大学・金沢大学・東京理科大学・東京農業大学・専修大学・甲府商科専門学校他